

## 2014年度 FD開発プロジェクト活動計画

FD開発プロジェクト・リーダー 常盤 祐司

<FD 開発プロジェクト>

### 1 活動目的

教育および学びの質の向上を目的とし、すべての教員が使える教育方法および教育支援ツールの展開を行う。

### 2 活動計画

#### (1) 教育方法の開発と展開

- ① eポートフォリオシステムを用いた教育方法を開発し、そこで得られた知見の学内への展開をはかる。
- ② “手書き” ツールとして Digital Paper を用いた教育方法を開発し、学内展開の可能性を調査する。
- ③ “手書き” ツールとして jimon システムを用いた教育方法を開発し、学内展開の可能性を調査する。

#### (2) 教育支援ツールの開発と展開

- ① Learning Analytics 技術を用いた教育支援ツールを開発し、実証実験を行う。
- ② IT 基礎教育を支援するツールを開発し、実証実験を行う。

#### (3) FD ハンドブック Web 版リニューアル

- ① FD ハンドブック Web 版を見直し、教員が FD 関連情報を容易に参照できるようにする。
- ② 2013 年度の FD 推進センター成果を上記 Web サイトで公開する。

#### (4) システム開発支援

- ① Web 授業改善アンケートシステムの要件定義、開発、普及を行う。

### 3 期待される状態

「2 活動計画」の成果として次の状態を目指す。

- 学部教員による教育実践：(1)①②③
- 教育支援ツールの開発：(2)①②
- FD ハンドブック Web サイトのアクセス数増加：(3)①②
- Web 授業改善アンケートシステムの全学利用：(4)①

### 4 プロジェクトメンバー(敬称略)と役割

坂本 (キャリアデザイン学部)、野々部 (デザイン工学部)、廣津 (情報科学部)、宮崎 (経済学部)、柴岡 (学務部)、芳賀、藤井、常盤 (情報メディア教育研究センター)

情報メディア教育研究センター所属のメンバーが教育方法および教育ツールを提案し、それを学部所属のメンバーが実践して評価を行い、学務部所属のメンバーが事務的な手続きをレビューするという役割分担とする。

### 5 コミュニケーション

- 月例会
- メールングリスト ( fdde@ml.hosei.ac.jp )

以上

## FD 開発プロジェクト 2014 年度年間スケジュール案

4 月度 (4/15 17:30-18:30)

- 2013 年度の活動計画レビュー
- 2014 年度活動方針と協議

5 月度 (5/20 17:00-18:00)

- Learning Analytics 提案
- IT 基礎教育支援ツール提案
- Web 授業改善アンケート提案
- Digital Paper プロジェクト環境説明

6 月度 (6/17 17:00-18:00)

- e ポートフォリオ進捗報告
- jimon システム進捗報告
- FD ハンドブック Web 版協議

7 月度 (7/22 17:00-18:00)

- IT 基礎教育支援ツールレビュー
- Web 授業改善アンケート要件定義レビュー

8 月度 (8/ xx:00-yy:00)

- TBD

9 月度 (9/ xx:00-yy:00)

- TBD

10 月度 (10/ xx:00-yy:00)

- TBD

11 月度 (11/ xx:00-yy:00)

- TBD

12 月度 (12/ xx:00-yy:00)

- TBD

1 月度 (1/ xx:00-yy:00)

- TBD

2, 3 月度 (3/ xx:00-yy:00)

- プロジェクトレビュー

# FD開発プロジェクト WBS

2014.4.9 常盤 作成  
2014.\*\* 常盤 更新

○:計画, ●:完了

戦略/施策/実行計画	担当																	
<b>1. 教育方法についての検討と展開</b>																		
① eポートフォリオシステムを用いた教育方法を開発し、そこで得られた知見の学内への展開をはかる。	芳賀	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3					
アセスメント型eポートフォリオシステムの現状を調査する。	芳賀	○																
2013年度の実践を省察し、ルーブリックを改善する。	坂本・芳賀		○	○	○	○												
授業を実践する。	坂本						○	○	○	○								
学生による自己評価を行う。	坂本										○							
結果を取りまとめる。	坂本・芳賀																○	
プロジェクトレビュー	P. Meeting																	○
経済学部におけるeポートフォリオシステムの現状を調査する。	宮崎・芳賀	○																
ゼミコミュニティ形成を推進する。	宮崎・芳賀		○	○	○	○												
ゼミ募集にてeポートフォリオ制作を支援する。	宮崎・芳賀							○	○	○	○	○						
結果を取りまとめる。	宮崎・芳賀																○	
プロジェクトレビュー	P. Meeting																	○
② “手書き”ツールとしてDigital Paperを用いた教育方法を開発し、学内展開の可能性を調査する。	常盤	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3					
Digital Paperのユースケースを協議する。	P. Meeting		○															
教育の場で利用を実践する。	P. Meeting		○	○	○													
評価を行う。	P. Meeting						○											
Digital Paperのユースケースを協議する。	P. Meeting							○										
教育の場で利用を実践する。	P. Meeting								○	○	○	○						
評価を行う。	P. Meeting																○	
プロジェクトレビュー	P. Meeting																	○
③ “手書き”ツールとしてjimonシステムを用いた教育方法を開発し、学内展開の可能性を調査する。	常盤	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3					
jimonシステムのユースケースを協議する。	坂本・宮崎・常盤		○															
プロジェクトメンバーによる利用を実践する。	坂本・宮崎・常盤		○	○	○													
評価を行う。	P. Meeting						○											
学部内展開の方法について協議する。	坂本・宮崎・常盤						○											
ガイドブックを制作する。	坂本・宮崎・常盤							○										
学部教員による利用を実践する。	坂本・宮崎・常盤								○	○	○	○						
評価を行う。	P. Meeting																○	
プロジェクトレビュー	P. Meeting																	○
<b>2. 教育ツール活用についての検討と展開</b>																		
① Learning Analytics技術を用いた教育支援ツールを開発し、実証実験を行う。	芳賀	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3					
小テストの信頼性・妥当性への自動フィードバック機能の要件定義	芳賀	○																
LMSへの統計分析機能付与に関する要件定義	芳賀	○																
要件定義書レビュー	P. Meeting		○															
機能開発・および使用教員へのガイドラインコンテンツ作成	芳賀				○	○	○											
教育現場における利用実践	授業担当教員							○	○	○	○	○						
評価および報告	芳賀																○	
プロジェクトレビュー	P. Meeting																	○
Kinnectを用いた教育支援ツールの先行研究調査・および要件定義	芳賀	○																
② IT基礎教育を支援するツールを開発し、実証実験を行う。	藤井	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3					
IT基礎教育支援ツールMAX+のユースケースを協議する。	P. Meeting		○															
法政大学でのIT基礎教育現場の現状を調査する。	藤井		○															
システムの仕様を検討を行う。	藤井				○													
システムの仕様をレビューする。	P. Meeting					○												
システムとコンテンツの開発を行う。	藤井						○	○										
実際の教育現場での利用を実践する。	藤井								○	○	○	○						
評価を行う。	藤井																○	
プロジェクトレビュー	P. Meeting																	○
<b>3. FDハンドブックWeb版リニューアル</b>																		
① FDハンドブックWeb版を見直し、教員がFD関連情報を容易に参照できるようにする。	常盤	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3					
現状を調査する。	常盤		○															
Webサイト基盤の検討を行う。	常盤			○														
コンテンツを整理する。	常盤						○	○										
コンテンツをWebサイトに制作する。	常盤								○	○	○	○						
Webサイトをレビューする。	P. Meeting																○	
公開する。	常盤																	○
② 2013年度のFD推進センター成果を上記Webサイトで公開する。	常盤	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3					
掲載するコンテンツを募集する。	常盤		○	○	○													
コンテンツを整理する。	常盤						○											
コンテンツをWebサイトに制作する。	常盤								○									
<b>4. システム開発支援</b>																		
① Web授業改善アンケートシステムの要件定義、開発、普及を行う。	常盤	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3					
要求獲得を行う。	常盤		○															
要件定義を行う。	常盤			○														
要件定義書をレビューする。	P. Meeting				○													
仕様書を作成する。	常盤						○											
開発ベンダーを確定する。	教育支援課・常盤							○										
開発プロジェクト管理を行う。	常盤								○	○	○							
学内展開を協議する。	教育支援課・常盤										○							
Web授業改善アンケートを実施する。	教育支援課・常盤											○	○					
プロジェクトレビュー	P. Meeting																	○